

# わが市わが町 座間市

～自然との共存～



写真2 ひまわり畑

本市は、東京から南西へ40 km圏内、横浜から西へ約20 kmのところであり、神奈川県ほぼ中央に位置し、面積は17.57平方キロメートル、広がり東西に5.3 km、南北に4 kmとコンパクトなまちです。

高度経済成長期には、事業所の進出、人口の急増など都市化が進み、現在は人口が約13万人と、県下33市町村中4位と人口密度が高い市となりました。小田急小田原線・小田急江ノ島線・相鉄線・相模線の4つの沿線にあり、都心へのアクセスがよいことから、近年はベッドタウン化が進み、イオンモールやコストコホールセールなどの商業施設も充実しています。

都市化の一方で、市内には自然にふれあえる公園が多くあります。

丘陵地が雨水や湧水などに浸食されてできた谷状の地形をそのまま利用した自然生態観察公園である県立座間谷戸山公園は、東京ドーム約6個分の広大な敷地に、田んぼを中心にした里、雑木林で覆われた山、湧水や池のある水辺の3つのエリアを有し、里山の景観は多くのボランティアの方々に支えられ

守られています。

市内唯一の総合公園である芹沢公園は、本市のおいしい水の水源地であり、かながわの公園50選にも選定されている緑豊かな公園です。

園内には広大な芝生広場や、水辺を訪れる野鳥などを観察できるせせらぎコーナーのほか、芝生広場を囲むようにつくられたジョギングコース、長さが約50 mのローラー滑り台などの遊具も豊富で、年代を問わず多くの方々に親しまれています。(写真1)



写真1 芹沢公園

また、例年8月に開催されるひまわりまつりは、平成5年から荒廃地、遊休農地対策の一環として、市の花「ひまわり」による景観植栽が行われたことをきっかけに、今では約55万本のひまわりが咲き誇り、県内外から観光客が訪れる本市の夏の

風物詩となりました。(写真2)

そんな自然が豊かな本市は、私たちの生活に欠かすことのできない貴重な財産である地下水にも恵まれ、水道水の約86%を地下水で賄っています。

将来もこの地下水を守るため、本市の地下水環境について関心を深めていただこうと、地下水の流れや湧水の仕組みを学ぶことができる「湧水ツアー」や、地下水100%を詰め込んだアルミボトル缶「ざまみず」の販売などに取り組み、環境保全に努めています。

令和3年11月、本市は市制施行50周年を迎えました。これを記念して制作したPR動画「LIFE in ZAMA」は、本市の馴染みのある自然風景が数多く描かれています。ぜひ皆様にもご覧いただき、本市を訪れていただけたら嬉しいです。

動画「LIFE in ZAMA」  
はこちら →



(座間市 市長室市政戦略課)